

第2回 代表者研修会報告

日時：令和5年10月13日（金）14：00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：中村副会長

1 あいさつ

(1) 静岡県養護教諭研究会

鈴木 理香 会長

皆様こんにちは。本日は、季節を問わず流行する感染症への対策や学校行事などで大変御多忙の中を、第2回代表者研修会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

さて、去る8月8日に夏季研修会が、4年ぶりの集合研修で行われましたが、理事の皆様の御協力のもと、無事に行うことができました。境野高資先生の「養護教諭が行う救急処置」の御講演も、大変高い評価をいただきました。会員の皆様の感想からは、「養護教諭の繋がりを意識する機会になった。」「この場に参加することで、自分の養護教諭としての存在意味を確かめられた。」というものもあり、集合研修のよさを改めて感じられる場にもなったようです。その他の御意見については、本日の議事の中でもお伝えいたします。

また、夏休み中、夏休み明けの貴重な一日を、高等学校養護教育研究会との合同研修会にも、御参加いただき、ありがとうございました。前半の交流研修では、近隣の小中高の養護教諭で貴重な情報交換を行うことができたという感想をいただきました。その後の講演で、焼津市立病院 視能訓練士 巻田育代様から「ICT 機器による眼の影響」についてお話をいただき、9年間の子供たちの健康を意識した有意義な研修を行うことができました。

理事の皆様には、2つの研修会に御協力いただき、重ねがさねお礼申し上げます。

今年度は、今期のテーマでもある「子供たちの幸せのために学び続ける養護教諭」のもと、コロナ禍で加速した学校でのICT機器の活用、その中で養護教諭による実践を編集した実践事例集18が発刊されます。後ほど、編集委員長から詳細については提案がありますが、この事例集には、会員の皆様から集まった「やってみよう」「やってみたい」と思える実践のヒントが、集まっています。ぜひ皆様のお手元においていただけるよう、理事の皆様からも地区の皆様にお伝えください。

そして、冬季研修会についてもICTの活用に関する研修会の準備を進めております。希望研修となりますが、多くの皆様に御参加いただきたいと思います。

また、本日は静岡県教育委員会 健康体育課教育主幹 富田宏美先生、学校保健会事務局長の櫻井信仁先生にも御出席をいただいております。先生方には、後ほど、御挨拶をいただきます。どうぞ、よろしく申し上げます。

本日は短い時間ではありますが、大変充実した内容になっております。提案事項につきましては活発に御協議いただき、共通理解のもと今後の活動を推進していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長

田中 浩美 校長

皆様こんにちは。第2回代表者研修会にお集まりいただきありがとうございます。

夏休みが明けてしばらく経ちました。猛暑に気を遣いながら過ごした日々を経て、ようやく涼しくなってきました。ちょうど私の地区内では秋祭りのシーズンでした。この3連休での祭りという地区が多かったのですが、その後、インフルエンザなどの感染症が急拡大して、学級閉鎖が増加しました。感染症との付き合い方は難しいと改めて思っているところです。

さて、8月8日に夏季研修会が4年ぶりに行われ、また8月23日には、理事と高等学校養護教育研究会との合同研修会も行われました。どちらも本当に素晴らしい会でした。

私も、今年養護教諭研究会の担当になり、初めて参加させていただきました。常に学ぶこと、新しい情報を得ること、同じ養護教諭同士が繋がりをもつことの素晴らしさを実感したところです。まさに、「学び続ける養護教諭」のための研修会でありました。

また、それぞれの研修会の講演からは、管理職としての危機管理意識を高めるという視点で、私自身にも得るものが大きかったと感じております。

夏季研修会を始めとするこれらの皆様の活動については、県の校長会理事会で報告をさせていただきました。各地区の校長先生方に、この会の活動について一層理解が進むように努めていきたいと思っております。

本日も、充実した協議ができますよう願っております。よろしくお願いいたします。

(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

皆様こんにちは。静岡県教育委員会健康体育課の富田と申します。よろしくお願いいたします。8月に行われました養護教諭の講習会ではお世話になりありがとうございました。無事に開催できたのも皆様のおかげと感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。

9月に入ってからインフルエンザが急増しました。コロナウイルス感染症を追い越してインフルエンザの報告が毎日きていましたが、今週に入り学級閉鎖は減ってきています。しかし、学校では様々な行事が行われております。これから感染が広がってくることも考えられますので、引き続きインフルエンザ、コロナウイルス感染症の感染予防に努めていただきたいと思います。

(4) 静岡県学校保健会

櫻井 信仁 事務局長

日頃より、本会の事業に御理解・御協力を賜り感謝申し上げます。特に鈴木会長には、本会の理事として各種会合に御出席いただいておりますことお礼申し上げます。

8月8日、グランシップで行われた県養護教諭研究会夏季研修会では、摂食障害や救急処置、各講習会での報告を聞かせていただき大変勉強になりました。参加させていただき本当にありがとうございました。

さて、今年度の本会における事業の進捗状況について報告させていただきます。

・学校歯科保健と学校環境衛生活動に関する調査について、御協力ありがとうございました。調査は滞りなく行われデータを収集することができました。

- ・関東甲信越静学校保健大会は、8月3日にさいたま市で開催されました。Zoomでの参加者も含め、静岡県からは42名の方に御参加いただきました。三島市立中郷小学校の村田先生には、分科会「学校環境衛生と安全教育」で実践発表していただきました。三島市長寿命化計画を受けての保健室のレイアウト等、環境衛生に向けた取組や、質問対応等素晴らしい発表でした。ありがとうございました。そして、三島市からも多くの方に参加していただき、御協力ありがとうございました。
- ・静岡県学校保健会における学校保健功労者及び各種優良学校等の受賞者（校）が決定しました。「学校保健功労者」には107名、「健康推進学校」は小学校3校、中学校3校、「学校歯科保健優良学校」は小学校9校、中学校6校、高等学校3校、特別支援学校1校、「学校環境衛生活動優良学校」は、小学校9校、中学校6校、高等学校3校、特別支援学校1校が受賞となります。第62回静岡県学校保健研究大会の中で代表者の方々に表彰状等をお渡しいたします。
- ・第62回静岡県学校保健研究大会は、11月16日に函南町文化センターで開催されます。現在、田方地区の皆様が準備を進めてくださっております。
- ・第45回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会を、12月25日にオンラインで開催いたします。当日の参加校は、沼津市立大岡中学校、県立小山高校と御殿場南高校、県立浜松湖南高校、そして誌上発表で県立静岡北特別支援学校南の丘分校となっております。一般聴講についても後日募集いたします。
- ・第52回学校保健新聞コンクールは、現在、応募作品を募集中です。
新型コロナウイルス感染症は5類に移行したといっても完全に治まっているわけではなく、インフルエンザによる学級閉鎖や流行も春先からずっと続いている状況です。そんな中、子供たちは、けがや体調不良、メンタルなど色々なことで保健室を頼りにしています。先生方御自身の健康にも十分御配慮いただきながら、学校での児童・生徒の対応、今後ともよろしくお願ひします。

2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

更新等があるものにポイントを絞って伝える。

(1) 保健管理より

P 1 ①新型コロナウイルス感染症

令和5年38週(9/18-24)県独自の感染症拡大警報基準を下回り、感染拡大注意報に替わり継続中である。この辺りから新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖の報告が減ってきている。引き続き学校や地域の感染状況に合わせた感染予防対策の継続をお願いしたい。

P 1 (エ) 出席停止解除後のマスクの着用、P 3 マスクの取り扱いについて

マスクの着用について、学校医様より文部科学省の通知内容を理解された上で、更なる感染拡大を心配してのマスクの着用への御意見をいただいた。県内では注意報が継続中であり、今後の感染拡大時に備えてマスクの着用を含む感染症対策の確認をお願いしたい。

(2) 疾病管理(現代的課題への対応)より

P 7 ①児童生徒等の定期健康診断の実施

・学校生活管理指導表について

「転出や高等学校へ進学した際に管理指導表を送付するなど、切れ目のない管理が行われるよう配慮する。」ことについて

県医師会より、管理されていて次回の受診日を設定しているにもかかわらず、学校からの管理表の提出の依頼により設定日より早く受診する児童生徒が多くいるとの指摘を受けた。保護者を通じて、転入・進学先の学校に管理表を送付してもらうなど切れ目のない管理をお願いしたい。

・「学校脊柱側湾症検診指針」の改訂について

改訂によりチェックする4つの順番が変わった。保健調査票等、今後の改訂をお願いしたい。

・就学時健康診断票及び児童生徒の健康診断票等の校医の押印について

令和2年11月13日付けの文科省の通知より、担当医師等の氏名を記入することに改められた。また、児童生徒の健康診断票等の押印については就学時健康診断票と同様の取り扱いとして差し支えないとされている。健康診断票の電子化が進み、変更については予算等で対応に時間がかかると理解している。現状や変更にあたる課題等を把握した上で市町教育委員会に改めて対応について通知していく。

P 8 ②アレルギー疾患への対応

学校管理下において「エピペンを使用するに至った場合」「アレルギー様症状が発生し救急搬送した場合」は市町教育委員会を通じ所轄の教育事務所へ報告する。となっている。まずは、市町教育委員会へ報告をお願いしたい。

(3) 保健教育より

P 9 (2)がん教育

10月11日付けで、政令市を除く市町教育委員会に「令和5年度がん教育研修会の案内」を発送した。10月30日にグランシップで教職員と外部講師合同の研修会を実施する。令和元年に同様の研修を行って以来の研修会。希望研修なので、希望する方は申し込みをお願いしたい。養護教諭の指導リーダーの第2回研修会と兼ねている。

(4) その他

令和4年度健康教育指導者養成研修実践報告の動画視聴について

配布したCD-Rに動画と資料が入っている。視聴時間は25分ですばらしい実践なので各地区で研修していただきたい。 ※各地区への依頼方法については現在検討中。

【依頼】

健康診断票・就学時健康診断票の校医印氏名・押印の状況と生理用品の活用について、地区理事の学校の様子をアンケート調査する。

3 議事

(資料 配付済み)

(1) 令和5年度静岡県養護教諭夏季研修会の反省

飛田幹事

講演はとても好評だった。このような内容の研修を望まれる声が多くあった。開催方式についての御意見が様々あったが、県教委と相談していきたい。

(2) 令和5年度静岡県養護教諭冬季研修会

鈴木理会長

- ・今期に発刊する実践事例集 18「養護教諭が行う ICT の活用実践」に即した内容で、希望者が参加する研修会を行う。
- ・冬季でもあり、感染症対策と、県内各地からの参加を考慮し2会場で開催する。
- ・開催にあたっては、監修者でもある静岡県総合教育センター企画・ICT 推進班の先生方に協力と講師をお願いし、2会場をオンラインでつないだ同時開催となる。
- ・午前の講義は教育センターから、午後の iPad を用いた実技研修の指導はヴェルデ会場から配信する。
- ・メイン会場を教育センター、サテライト会場をヴェルデとしてあるが、どちらにも、教育センターから講師とスタッフが入り支援体制も整えるため、同じ内容が受講できるようになっている。
- ・申し込みはフォームを利用して期間内に行う。
- ・午前に行う講義の動画を YouTube で限定配信する。昨年度同様 HP の会員限定ページに視聴のための URL を掲載する。
- ・会場には定員があるが、動画視聴とも、多くの会員の皆様に御参加いただけるよう、理事の皆様からも呼びかけをお願いしたい。
- ・詳しくは要項を見て欲しい。

(3) 各委員会の報告

① 会報「たちばな 66 号」編集報告

中村委員長

- ・12月初旬の発刊に向けて進めている。
- ・県内全ての会員へ無償配付をする。
- ・配付以外で購入する場合は600円で販売する。
- ・申込みの文書は各地区理事から会員に配付し、11月6日までに委員長に届くように回収する。
- ・12月初旬には完成した冊子を各地区へ届ける予定。各地区理事から会員、教育委員会等関係機関への冊子の発送、原稿執筆者へのお礼状の発送を行う。

② 「実践事例集 18」編集報告

山村委員長

- ・12月発刊に向けて準備を進めている。
- ・コロナ禍で加速した ICT 活用について会員の皆さんの事例が詰まった冊子になっているので、ぜひ活用して欲しい。
- ・販売価格は1,000円。
- ・申込みの文書は各地区理事から会員に配付し、11月6日までに委員長に届くように回収する。
- ・事例掲載者、事例集編集委員には1冊贈呈する。(該当者へ連絡済み)

③-1 調査研究「実態調査」結果報告

中島委員長

P2 会員数、学校数

- ・県内においても少子化は進んでいる。この10年間で学校数が30校、小中学生が

33,812人減少している。

P 3 年齢、経験年数

- ・年齢では20代前半と40代、経験年数では25年から29年の層が、低くなっている。
- ・10年後を考えた組織作りや研修の充実により、資質の維持や向上に取り組んでいくことが大切。
- ・研究会として、研修費の予算化や最新の研修についての情報発信を行っていく。

P 5、6 保健主事任用状況

- ・研究会では、養護教諭が保健主事になることを推し進めているわけではない。
(実態の把握)

P 10、11 保健室、校内の施設・設備

- ・前年度と少し設問を変えたため、単年度のグラフとなっている。
- ・今回初めて、特別教室の空調設備についての質問をした。静東、静西地区に比べ静岡、浜松地区では、特別教室のエアコンの設置が遅れている。

P 15 保健室登校・別室登校

- ・中学校における別室登校の割合が高い。
- ・今年度は小学校でも別室登校が増加した。

P 23～P 25 心の健康に問題を抱える児童生徒への支援

- ・小学校より中学校での割合が高く、中学校全体では97.3%という高値を示している。
- ・支援した内容は多岐に渡っており、より多面的な対応が求められている。

P 26 いじめへの対応

- ・小学校、中学校ともに、昨年度よりも増加している。

P 28 虐待への対応

- ・全体的に横ばいとなっている。

P 30 教職員からの相談

- ・養護教諭は子供のことでなく、教職員自身の相談も多く受けている。

P 35 新型コロナウイルス感染症対策で特に苦慮したこと

- ・小学校、中学校ともに、「登校後の体調不良者への対応・隔離」が最も多く、続いて、「登校前の健康観察の徹底」であった。
- ・第5類に移行されたとはいえ、安全安心が求められる学校では、対応に苦慮することが多い。

※児童生徒数は年々減少しているが、今後新たに生まれる健康課題等への対応を考えると、複数配置などの人的な支援の充実について、関係機関への働きかけを継続していく必要を感じる。

P 40 資質の向上

- ・研修したい内容として、職務に関する内容では、「救急処置・救急体制」が多く、領域・分野に関する内容では「メンタルヘルス」、技法に関する内容では「情報処理」の希望が多くあった。

※研究会としては、児童生徒の健康課題解決と養護教諭自身の資質の向上のため、

必要度の高い研修を企画していきたい。

③-2 令和6年度実態調査フォーム導入に向けて

- ・令和7年度末にフォームでの回答を完全実施するための全会員によるテスト入力を行う。 期間 2月1日(木)～2月7日(水)
- ・フォームについて、地区理事による回収作業はない。1月に事務局より地区理事へQRコードを送り、それを会員へ配付してもらう。

【テスト実施理由】

- ・「活動反省」よりデータの使用容量が大きく、全校のデータが回収できるかが不明であるため。
- ・各校での入力時に、今までのようなエラーチェックができないので、全校のデータを回収した後に、どのようなエラーが起きるのか確認し、修正する必要があるため。
- ・回答方法が変わることで、回答の傾向やデータに影響が出ないかを確認し、長く積み重ねられた調査として、データの信頼性を維持するため。

【会長より】

- ・理事を介さず研究会が直接データを受け取ることで、各地区のセキュリティの事情によって起こる問題を解決し、理事の手間も省けるよう改善したい。
- ・複雑で容量の大きい実態調査をフォーム化するには、どうしても検証が必要である。会員には、本年度中に実質2回の実態調査をしてもらうことになるが、御理解・御協力をお願いしたい。

④ ホームページアップ状況

白柳委員長

- ・「保健室訪問」について県下12校に依頼中。
- ・今後は、冬季研修会の資料、講演動画等を会員ページにアップする予定。
- ・本年度は新たに、会報「きんもくせい」にQRコードを載せ、HPにアクセスしやすくしたり、会誌「たちばな」でHPを紹介したりした。

⑤ 組織検討委員会 報告

白柳副委員長

- ・浜松地区は10月25日の研修会の際、来年度の研究会加入について会員の意見を聞く。継続の見込みだが、正式には年明けに決定する。

⑥ 役員選出委員会 報告

道上委員長

- ・現在、会長・副会長候補へ正式な依頼を進めている。内諾を得た後、10月中には該当地区の理事へ連絡する予定。
- ・幹事、書記を依頼したい地区へは11月上旬までに連絡する。地区内で選出し、12月1日(金)までに委員長へ報告する。

(4) 令和5年度静岡県養護教諭研究会活動反省について

鈴木久事務局

- ・質問8について、実態調査の内容に合わせて変更した。
- ・本年度は、フォームでの回答とする。理事は、地区会員全員が回答したことを確認し、12月25日までに事務局へ報告する。

4 連絡事項

(1) 会報「きんもくせい」について 土屋書記
第137号を発行した。理事から会員へ配信してもらう。

(2) 会員名簿について 土屋書記
藤枝市立青島中学校、焼津市立焼津西小学校が複数配置になり、会員数が769人になった。

(3) 会計より 伊藤会計

- ・会誌「たちばな」、実践事例集18の代金は、地区ごとにまとめて1月12日(金)までに振り込む。
- ・「請求書、領収書形式についての報告書」「代金入金報告書」も提出する。

(4) 事務局より 理事依頼事項について 鈴木久事務局

- ・一覧を確認し、期日を守って提出してほしい。

【確認】 会計(焼津市立焼津東小学校) FAX 番号 054-626-1954

(5) 各地区から

ア 運動器（脊柱）検診について

本年度指針の変更があり、保護者や学校側でチェックした児童生徒は勧告対象となったが、検診をどのように進めているか。校医の診察も必要か。

- ・校医から検診時に診る必要はないのではないかと問われた。
- ・校医に診てもらって「大丈夫」と言われることもある。校医の意見は軽視できないが、どうするか。
- ・受診の勧め（治療勧告）の文面はどうするか。
- ・9年間の調査票を使用しているが、新しい調査票を用意する必要があるか。
- ・内科検診で脊柱のチェックをしてもらう際、脱衣の必要がある。裸になることについて保護者からの意見が多く、来年度から同意書を取るになっている。

【県教委より】

- ・通知が遅かったため、今年度については反映できないことを医師会に伝え、了承を得ている。
- ・運動器検診の実施方法に関する養護教諭の声は、医師会に伝えていく。ただ医師会側の考えもあるので、変更は難しい。

イ 統計処理について

体格疾病集計の実施方法や集計結果の活用について、各地区の様子を知りたい。

- ・エクセルシートに入力し、11月6日までに磐周へ送ってほしい。
- ・まとめた結果は、事務局を通して各地区へ報告していく。

(6) その他

- ・研修会報告 紙面
関東甲信越静学校保健大会、全国養護教諭研究協議会 第25回研修会
- ・フレンズYOUGO 鈴木理会長
西部、中部、東部の3会場で開催する。HPで詳細を確認し、各自で申し込む。
- ・静岡県予防医学協会より 鈴木理会長
「事業年報」の電子媒体化を進めている。予防医学協会のHPに掲載する。